

服用方法に適した薬剤の提案

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は、患者の服用方法に合わせて薬剤の変更を提案することでコンプライアンスの改善に貢献できた事例のプレアボイドを紹介いたします。

患者背景

Sさん

▶嚥下機能低下のため、内服薬を水で懸濁後に経口摂取している患者

【処方】フェルムカプセル® 1回1カプセル 1日1回朝食後



Sさんこんにちは。
お薬飲まれていてお変わりありませんか？



薬を溶かして飲むようになって、前よりは薬が飲みやすくなったんやけど、小さい粒がのどにひっかかるんよねえ。

なるほど。鉄剤のフェルムカプセル®の中には成分がゆっくり溶け出る粒が入っているので、おそらくそれではないかと思います。



鉄剤は、しっかり飲まないけんで言われたところよ。

フェロミア顆粒®という鉄剤もあるのですが、こちらの方が水にも溶けるので飲みやすいかもしれません。



そのほうがいいかもしれんな。
試してみたいです。

わかりました。
では、フェロミア顆粒®に変更できないか相談してみますね。



その後、フェルムカプセル®からフェロミア顆粒®へと変更となった。
Sさんはフェロミア顆粒®に変更後、問題なく鉄剤の服用を継続できた。
患者の服用方法に適した薬剤を提案することでコンプライアンスの改善に貢献できた。